

## 子どもと保護者 心がつながる学期末懇談 ～学期末懇談 3つの極意～

今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、年度当初の参観日や家庭訪問がなく、「学期末懇談で保護者の方と初めてお会いする」という先生もいるのではないのでしょうか。学期末懇談は、保護者の方へ「〇〇さんのことを一緒に考えていきたい。共にやってみましょう」という思いを直接お伝えできる絶好の機会です。キーワードは「成長」。「先生と話せてよかった」という時間にするためのコツを紹介します。

### 1 頑張っていたところ、いいところは具体的に伝える

よくやりがちな例



〇〇さん、よく頑張ってますよ。

うちの子、何を頑張っているのかしら？



こうすれば…

「給食係で、おかずを上手に盛り付け、余ることなく配膳できるんです。」

「体育のときに、二重跳びができるようになるまで何回も練習していましたよ。」

「家庭科で、ボタン付けができなくて困っている友だちに優しく声をかけて一緒に作ってくれました。」

### 2 努力してほしい点は、子どもの気持ちを汲み取る

よくやりがちな例



授業中椅子に座ってられないんです。みんな困ってます。何度も言ってます。ちゃんと言い聞かせてください。

落ち着きがないことはずっと言われている。私だってずっと言い聞かせているのよ。一体どうしたらいいの！



こうすれば…

困ったことの中でもよい方に变化したことを伝える

「椅子に30分座っていられるようになりました。」

「〇〇の教科の授業で、とても集中して学習していました。」

本人が言えてない気持ちがあるかもしれないから聞いてほしいということを伝える

「席を離れているときは、何か困っていることがあるかもしれないです。私には言いにくいこともあるかもしれないので、お家でも気持ちを聞いてあげてもらえますか？」



「成長したね」  
「努力したね」

中学生にはその場で聞くこともできます。

### 3 目標は、子どもの口から(自我関与・自己決定)

#### 二者面談(小学校バージョン)

「〇〇さんの気持ちも聞きながら、2学期からは◇◇にチャレンジできるように支援したいと思っています。まず□□をやってみるとかどうでしょう？また様子を聞かせてください。」

#### 三者面談(中学校バージョン)

生徒に 「〇〇さんは、2学期からはどんなことにチャレンジしたいと思っていますか。」

「そのことが実現するように先生はサポートするよ。まず□□をやってみる？」

保護者に「またお家での様子を聞かせてください。」

※ 懇談までに、葉書サイズの用紙に「2学期頑張りたい3つのこと」を書いてもらっておきましょう。自我関与させておいてから子どもの思いとして伝えると主体の力を育てるサポートになり、保護者ともよりつながることができると思います。

# 新型コロナウイルス感染予防の対策を考えた面談の机の配置例

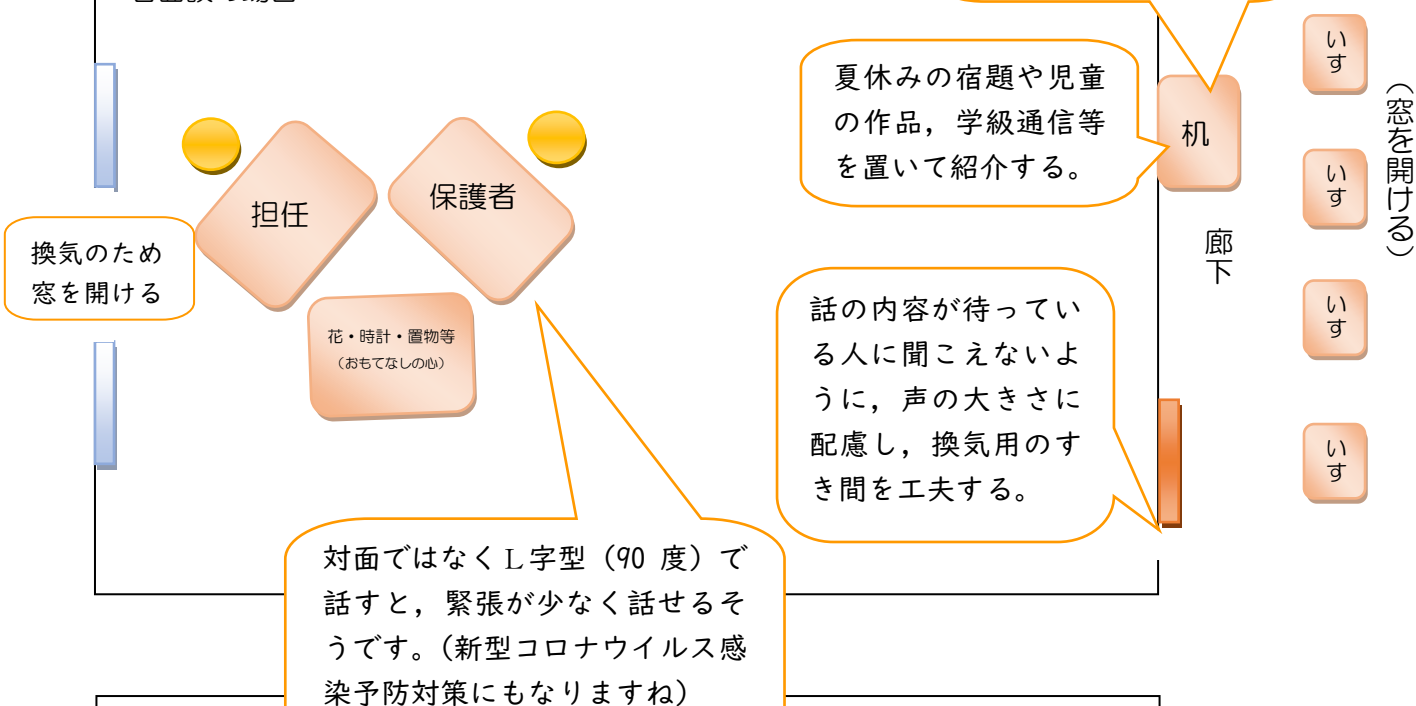


保護者の方は、子どものために時間をつくってきてくれています。感謝と共同の気持ちが伝わる工夫を!

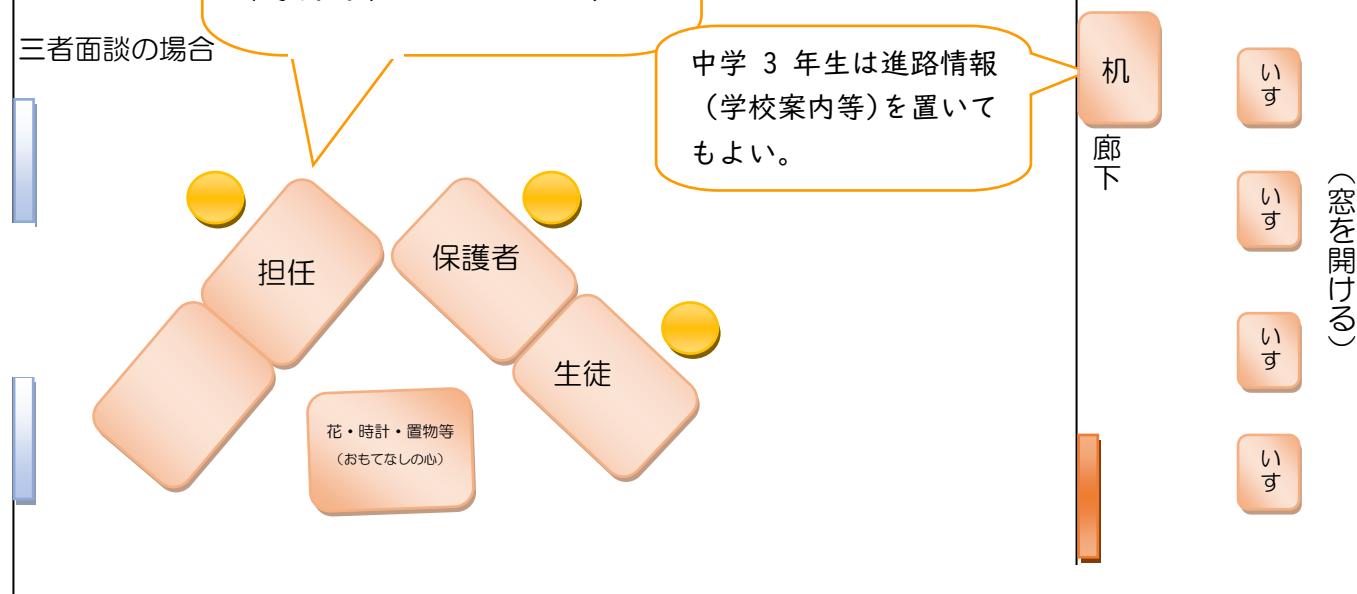
リーフレットに掲載していること以外にも学校、学年の先生方がたくさんの工夫、技をおもちのことと思います。ぜひ、お近くの先生と話題にしてください。

面談進行表の近くに「お忙しい中お越しいただきありがとうございます」とメッセージを書く。

## 二者面談の場合



## 三者面談の場合



懇談は時間厳守!でも話が長くときは…  
**「まだお話をお聞きしたいのですが,この後次の方がいます。〇時からならお聞きできます(お電話できます)がいかがですか?」**  
 と,いったん区切り,次の方との出会いも大切にしましょう。